

PUBLIC RELATIONS

# 川越

新春  
No1046

平成15年1月10日

(毎月10日・25日発行)



中核市に賜行する躍躍の年を迎えて：2

市民の森が誕生して

裏通り  
春に生きる！

●「社協だより」が折り込まれています。

\*携帯電話等の「マイタウン情報」で、広報川越の情報（一部）が見られます。



スマイルデイ・川越

<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>

成人式とはしこのり

昨年11月に行われた中核市シンポジウム



当者連絡会議を設置し、委譲事務や要員について県との協議を続けてまいりました。また、延べ百五十人の職員を県に派遣し、実務研修を実施しております。

昨年五月には、市議会において中核市指定の申し出の議案が、また六月には、県議会において申し出の同意の議案が、それぞれ全会一致で可決されました。これを受け、八月二十六日には、直接総務大臣に中核市指定の申し出をしてまいりました。こうした経過をたどり、十一月一日、本市を中核市に指定する政令が公布され、正式に中核市移行が決定いたしました。このことにより、本市は全国で三十一番目、埼玉県で初めての中核市となるわけでございます。

中核市への移行に伴い、福祉・保健衛生・都市計画・環境など約二千四百の事務が県から市に委譲されます。正に、市民生活にかかわりの深い事務を、市民の皆様にいちばん身近な市が行えることになるわけでございます。

今や埼玉県南部地域において産業・経済・文化等の中心的役割を果たしている本市が、中核市への移行を契機に、その権限を最大限に活用し、自立性の高い個性豊かな都市として大きく発展していくよう、努力を重ねてまいります。

中核市移行に伴う委譲事業への対応や、下水道事業の公営企業化への対応、いつそうの事務事業の効率化等を図るため、平成十五年度は大幅な組織改正を行う予定です。そのボイントの一つとして、「都市計画部」

当者連絡会議を設置し、委譲事務や要員について県との協議を続けてまいりました。また、延べ百五十人の職員を県に派遣し、実務研修を実施しております。

昨年五月には、市議会において中核市指定の申し出の議案が、また六月には、県議会において申し出の同意の議案が、それぞれ全会一致で可決されました。これを受け、八月二十六日には、直接総務大臣に中核市指定の申し出をしてまいりました。こうした経過をたどり、十一月一日、本市を中核市に指定する政令が公布され、正式に中核市移行が決定いたしました。このことにより、本市は全国で三十一番目、埼玉県で初めての中核市となるわけでございます。

皆様には、輝かしい平成十五年の新春を健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日ごろから市政全般にわたり、温かいご支援とご協力をいただいておりますことに心より厚くお礼申し上げます。

昨年は、本市が埼玉県で初めての市制を施行して八十周年という、たいへん意義深い年でした。これまでの八十年間、激動の社会・経済情勢の中にあって、本市が今日のような発展を遂げることができましたのは、ひとえに郷土愛に燃える先人各位、市民の皆様のたゆまざる努力のおかげと、心から深く感謝と敬意を表するものであります。また、八十周年記念事業の実施に際しまして、多くの市民の皆様や関係諸団体にご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

現在、川越市は貴重な歴史と伝統を生かしながら、都市機能の

## 川越市長 舟橋功一



# 中核市に移行する 飛躍の年を迎えて

充実や環境整備、住民福祉の向上に努め、「未来に萌える歴史のまち」として大きく前進を続けております。私は、十年後、二十年後の本市のあるべき姿を見据え、持論であります「福祉充実・住みよい環境・歴史生かした（産業の）活性化」を市政の目標として、今後もさらに努力を重ねてまいる所存です。

さて、本年四月一日に、いよいよ中核市・川越が誕生いたします。

私は平成十一年の年頭に、三年から四年後をめどに県内初の中核市移行を目指すと表明いたしました。同年七月に地方分権一括法が成立したのを受け、同十二年度から本格的に移行のための準備に着手いたしました。

これまで中核市移行後の事務を円滑に行うため、県市事務担

を「まちづくり部」に改めるとともに、建設部に「街路課」「道路環境整備課」を設置し、都市計画道路やゆずりあい道路の整備など、道路事業をいつそう推進してまいります。

さらに、私が政策を決定し、推進することを多方面から補佐してもらうことを目的として、「市長室」を設置いたします。そして、その中に「拠点施設推進室」を新たに独立させ、川越駅西口周辺の整備を推進してまいりたいと考えています。

彩の国まごころ国体は、平成十六年に開催が予定されております。ことしの夏以降はリハーサル大会として、本市でもバレーボールやサッカー等の競技が実施されます。「国体推進室」に代わって、同国体の開催・運営に係るすべての事務を行う「国体事務局」を設置し、全局的な協力体制で取り組んでまいります。

女性政策については、組織を「女性政策推進室」から「男女共同参画課」として充実させ、男女共同参画推進条例の理念の実現を図つてまいります。



総合保健センターで行われた健康まつり

私は、市の根幹は市民ひとりひとりの健康にあると考へ、総合保健センターを健康づくりの拠点施設として、市民の皆様の健康保持・増進に努めてまいりました。中核市移行により、本年四月、市立保健所が設置されます。このことにより、市民の健康づくりに対して、ますます市が主体性を發揮できるようになります。県との連携を深め、市民の皆様に信頼される保健所にしていく所存であります。

介護保険制度がスタートして二年が経過したことにより、現在、第二期川越市介護保険事業計画の策定と、川越市老人保健福祉計画の見直しを行つております。高齢者等が、住み慣れた地域や家



工事が進む仮称お祭り会館

また、国の緊急地域雇用創出特別交付金制度を活用して、雇用創出に効果的な事業を実施するとともに、昨年度創設した新規創業者支援資金融資制度も継続し、新規創業および新たな雇用機会の創出を促進してまいります。

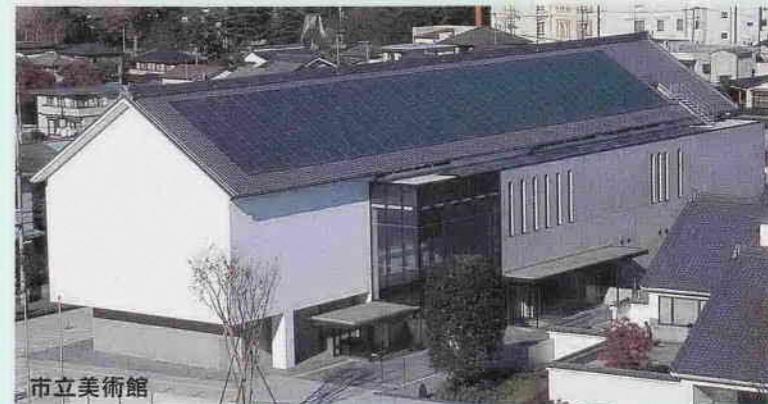
本市には、年間四百万人もの観光客が訪れ、「観光のまち川越」のイメージは全国に知れわたるほどになつております。蔵造りの町並みに代表される多くの文化財は、観光資源として地域経済を活性化するうえでも貴重な財産といえます。本市を一度訪れた観光客が、二度三度と訪ねたくなるような魅力あるまちづくりを推進するため、観光の拠点施設として、川越まつりの時期に合わせ、二ユースオータン市と、姉妹都市の締結をいたしました。また、仮称お祭り会館をオープンいたします。

私は、かねてから地球環境の保

全は、次の世代に負の遺産を残さないためにも、私たちが責任を持つ取り組まねばならない課題だと認識し、一パーセント節電運動をはじめとする環境政策を推進しております。

では初めて、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得し、環境問題の解決に積極的に取り組んでまいりました。更新に合わせ、ISO14001の適用範囲を環境負

荷の大きい東清掃センターやりサイクルセンター等に拡大いたしました。



市立美術館

庭で安心して生活できるよう、在宅福祉サービスをさらに充実させるとともに、要介護・要支援状態にならないようになるための施策を積極的に推進してまいります。

また、昨年開設した障害者就労支援センターにおいては、障害者の職業的・社会的自立が図れるよう、各種支援を実施いたします。

仕事と育児を両立できる環境を整備するため、ファミリー・サポート・センター事業を、本年三月から川越市社会福祉協議会において実施いたします。保育園につきましても整備を推進しておりますが、今後も入所待機児童の解消に努めてまいります。

市民の皆様の生涯学習活動の高まりにこたえるため、昨年は移転改築した霞ヶ関北小学校に併設して、伊勢原公民館と西図書館を開館いたしました。また、川越駅東口には図書館・児童館等を併設した複合施設のクラッセ川越を、山田には北部地域ふれあいセンターをオープンいたしました。本年は、これらの施設が市民の皆様に十分満足していただけるよう、それぞれの施設が持つている機能の充実に努めてまいります。

また、昨年十二月に開館した市立美術館につきましても、川越ゆかりの作家等の作品を展示するとともに、市民の皆様が創作や展示発表の場として活用しやすい身近な施設にしてまいります。

本市には、年間四百万人もの観光客が訪れ、「観光のまち川越」のイメージは全国に知れわたるほどになつております。蔵造りの町並みに代表される多くの文化財は、観光資源として地域経済を活性化するうえでも貴重な財産といえます。本市を一度訪れた観光客が、二度三度と訪ねたくなるような魅力あるまちづくりを推進するため、観光の拠点施設として、川越まつりの時期に合わせ、二ユースオータン市と、姉妹都市の締結をいたしました。また、仮称お祭り会館をオープンいたします。



環境マネジメントシステム登録証と付属書

市民の皆様からご要望の高い公園の整備につきましては、昨年、脇田町のクレアモールに、憩いと潤いのある空間としてクレアパークを開園いたしました。平成十五年度には、新河岸川舟運の歴史を今にとどめる仮称仙波河岸史跡公園の整備が完了する予定です。自然と歴史に親しみ、安らぎを感じる公園としてご利用いただけるものになると思つております。

子どもたちが思う存分遊べる、安全で身近な公園につきましても、計画的に整備していきたいと考えております。

長引く景気の低迷により、事業経営や市民生活にも深刻な影響が現れています。現在、中小企業経営安定化資金融資として八億円の特別融資を実施しておりますが、今後も景気の動向に対応して実施してまいります。



クレアパーク

市立美術館の開館に合わせ、同館のしゅんこう式の日に、北海道河西郡中札内村との友好都市の調印を行いました。オータン市は、パリの南東三百キロに位置する古い歴史のある都市で、二年前から交流を深めてまいりました。また、中札内村は、帯広市の南にあり、本市の名譽市民である相原求一朗さんの美術館がございます。これを機に、両市村と教育・文化・経済等幅広い交流を図つてまいりたいと考えています。

仮称高階地区公共施設につきましては、建設に向け本格的な検討が進んでいます。地域の皆様のご要望を十分生かし、全国に誇れる施設となるよう建設の実現に向けて取り組んでまいります。

私は、まちづくり建設につきましては、建設に向けさらなる努力をしてまいります。

私は、まちづくりにとつて地域のコミュニティは、市全体を支えるうえでたいへん重要なものだと認識し、地域の皆様の活動拠点である自治会集会所の整備に対して引き続き補助してまいります。

今日進められております地方分権は、自己責任に基づいて、みずからの中をどう創造していくか、正に自治体の知恵と実行力が試されるものであります。本市が中核市・業務核都市としてふさわしい質の高い行政サービスを提供することができるよう、効率的な行政運営につきましては、建設にかけてさらに努めてまいります。

私は、まちづくりにとつて地域のコミュニティは、市全体を支えるうえでたいへん重要なものだと認識し、地域の皆様の活動拠点である自治会集会所の整備に努めています。

した。今後も、行政みずからが環境に与える影響を改善し、市民の皆様や事業者のみならず、他の自治体の模範となるよう努めてまいります。

新清掃センター建設につきましては、建設にかけてさらに努めてまいります。

私は、まちづくりにとつて地域のコミュニティは、市全体を支えるうえでたいへん重要なものだと認識し、地域の皆様の活動拠点である自治会集会所の整備に努めています。

した。今後も、行政みずからが環境に与える影響を改善し、市民の皆様や事業者のみならず、他の自治体の模範となるよう努めてまいります。

私は、まちづくりにとつて地域のコミュニティは、市全体を支えるうえでたいへん重要なものだと認識し、地域の皆様の活動拠点である自治会集会所の整備に努めています。

した。今後も、行政みずからが環境に与える影響を改善し、市民の皆様や事業者のみならず、他の自治体の模範となるよう努めてまいります。

私は、まちづくりにとつて地域のコミュニティは、市全体を支えるうえでたいへん重要なものだと認識し、地域の皆様の活動拠点である自治会集会所の整備に努めています。

した。今後も、行政みずからが環境に与える影響を改善し、市民の皆様や事業者のみならず、他の自治体の模範となるよう努めてまいります。

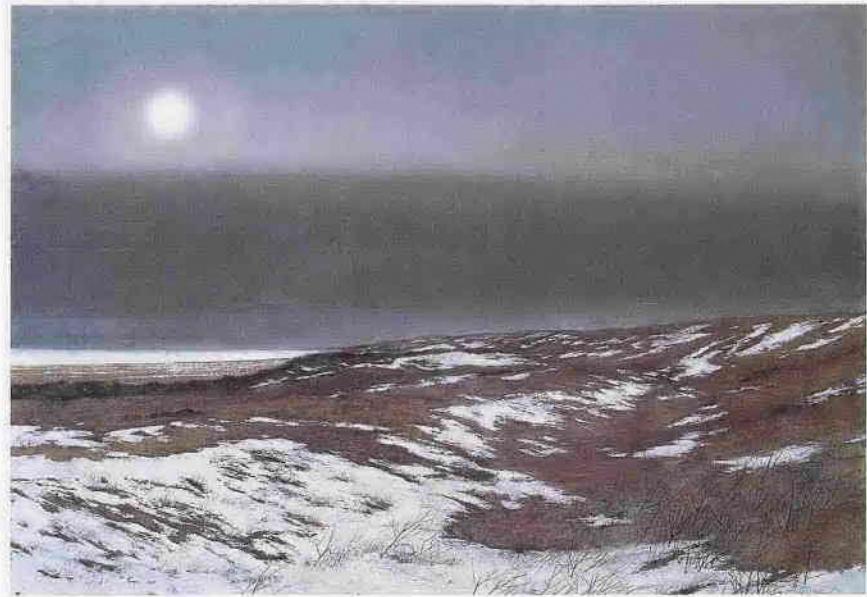
私は、まちづくりにとつて地域のコミュニティは、市全体を支えるうえでたいへん重要なものだと認識し、地域の皆様の活動拠点である自治会集会所の整備に努めています。







# 風の渡る大地 34



厳冬陽淡く 100F 1992

一九九二年、相原求一朗さんは三越本店で開催する個展に向けて五十一点を描き上げます。それは肝炎と闘う画家にとって命がけのこと。対の作品である「嚴冬陽淡く」と「嚴冬月淡く」には共に孤高の心理がうかがえます。モノトーンの印象が強い相原さんにとってこの時期は色彩が豊富なうえ、太陽のある風景が多いのも特徴です。描くことは自然の再現ではなく、心の動きを表すもの。そうして何かに導かれるように画家は九〇年代を駆けて行きます。



## 編集日記

明けましておめでとうございます。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。この新年号はいつもより早くお届けしましたが、皆さん正月をいかがお過ごしですか？ 広報川越や年賀状を見たり、お年玉を渡したり……▶子どものころの私は、お年玉がいちばんの楽しみで、親せきの人の顔を思い浮かべては胸をワクワクさせていました。そして、社会人になるとお年玉をあげる側に立場が変化。初めてお年玉をあげたときの少し恥ずかしかった気持ちは、今でも覚えています。また、久しぶりに会った同級生といっしょに、心をウキウキさせて出席した成人式。今思えば、20歳という年齢は人生の節目の1つでした▶変化や節目といえば、ことしの川越市にも当てはまります。4月1日に、全国で31番目、関東で3番目、そして埼玉県では初めての中核市に移行します。川越市がたくさんの権限を持つことで、よりきめの細かい個性的なまちづくりが可能になります。具体的な内容や経過は随時、広報川越でお伝えします。ご期待ください。

## TV わが街川越 番組ガイド



収録の様子（市立美術館）

**平成十五年の新春に語る**  
ことし四月に川越市は、いよいよ中核市に移行。昨年十二月にオープニングした市立美術館から、舟橋功一市長がこれから川越のまちづくりについて、中核市への移行を踏まえながら抱負を語ります。

## テレビ埼玉（38ch） 毎月第1・第3土曜日とその翌日の日曜日に放映

1月4日・18日(土)／午前9時30分～9時40分  
1月5日・19日(日)／午後5時30分～5時40分

## 川越ケーブルテレビ（15ch）

1月17日(金)まで \*1月18日(土)からは「わが街川越20年のあゆみ」を放送予定です。  
午前9時30分～・午後0時30分～・午後5時30分～・午後8時30分～・午後11時30分～

## テープコケーブルテレビ（9ch）

1月26日(日)～2月1日(土)  
午前6時30分～・午後0時30分～・午後4時30分～・午後7時30分～・午後9時30分～

\*変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

\*放送時間に見られないときは、ビデオ録画しておくと便利です。

■発行日／平成15年1月10日（毎月10日・25日発行）

■発行／川越市

■編集／広報室 〒350-8601 埼玉県川越市元町1丁目3-1 ☎049-224-8811内線3522

■印刷／櫻井印刷所

広報川越 1046

広報川越は古紙100%再生紙を使用しています

R100